



二気二力

《校訓》 気概 気品 協力 体力

《学校教育目標》

しなやかにたくましく、

夢に向かって前進し続ける生徒の育成

瀬戸内市立牛窓中学校

令和5年度学校通信

第6号

令和6年1月24日発行

TEL 0869-34-2048

FAX 0869-34-4698

メールアドレス

ushichuu@city.setouchi.lg.jp

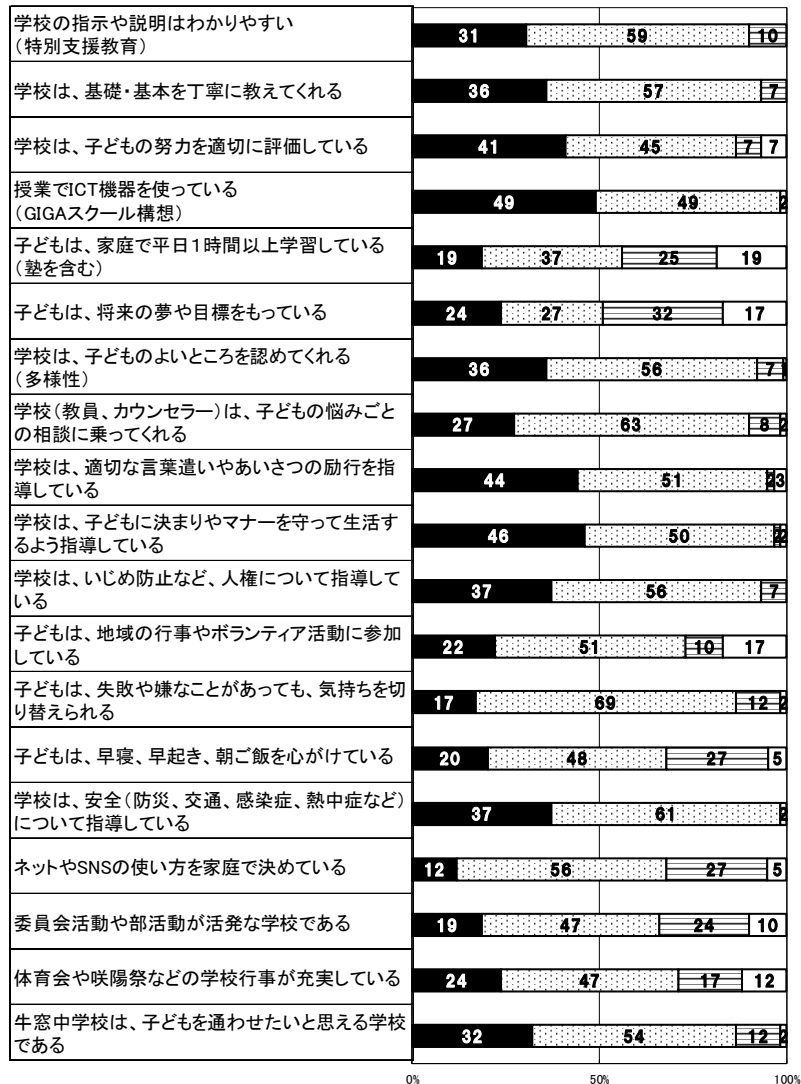
学校評価アンケート（保護者）

昨年末、保護者の皆様と生徒の皆さんに外部アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。外部アンケート（生徒、保護者）と自己評価（教職員）の結果を1月19日（金）に学校関係者評価委員会で公表し、本校の教育活動について評価していただきました。その結果は全教職員にフィードバックし、教育活動の一層の充実に役立てて参ります。以下、学校関係者評価の抜粋です。

「先生の指示を、生徒はわかりやすく思っている。」「総合（的な学習の時間）に積極的かつ意欲的に取り組んでいる。」「地域への関心を高める取組ができています。」

「PST（Planning and Studying Time 学習計画の時間）がマンネリ化している。」「新型コロナ（ウイルス感染症）が落ち着いて、以前に近い取組ができ、学校全体で一体感をもって活動できている。」「委員会活動等、生徒は教員の指導により、活発さを感じるが、保護者への周知の必要性を感じる。」「行事が復活してきたので、保護者の関心や理解が深まりそう。」「保護者と子どもと一緒に生活習慣の指導が必要なのかも知れない。」「ICT機器の活用には、改善の余地があるが、基本的な事項については、質の高い取組ができています。」

A:当てはまる B:どちらかといえば当てはまる C:どちらかといえば当てはまらない D:当てはまらない



ご寄付に感謝

能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。3学期早々、本校生徒会が義援金を呼びかけたところ、多くの方々からご厚意をいただきました。寄せられた90,050円は、生徒会代表が1月17日（水）に山陽新聞本社に届けました。義援金は、日本赤十字社を通じて被災者支援に役立てられます。ご協力ありがとうございました。

一方で、昨年末、昭和31年度同期会から本校に寄付金をいただきました。不用になったリコーダーを海外の子どもたちに贈る支援金や、吹奏楽部指導の講師謝金として活用させていただきます。

花植えボランティア

昨年 11 月 27 日（月）早朝、更生保護女性会の皆様 20 名と有志の生徒が、花の苗や球根を花壇やプランターに植えました。チューリップの球根を植える穴を掘り、パンジーやビオラをポットから取り出し、紅白の葉牡丹を交互に並べました。寒中にもかかわらず、心温まる協働作業となりました。しっかり根づいたので、春まで楽しめそうです。

昨年 7 月 4 日（火）にも、更生保護女性会の皆様に花の苗を植えていただき、お盆明けまで水やりや草抜きなどの手入れを続けていただきました。平素より、生徒の様子や学習環境を気にかけてくださっていることに感謝します。1 月 19 日（金）には地域教育協議会を開催し、活動・会計報告の他、学校



評価、津波避難経路、学校以外が担うべき業務（中央教育審議会）を話題にさせていただきました。

3 年生「The Ushimado 未来図」発表会

本校では 3 年計画で、地域社会とのつながりの中で挑戦する場や機会を意図的・計画的に設定した課題解決型学習 PBL「歴史に学び、今を知り、未来を創る ふるさと未来創造学習 Homing」に取り組んでいます。そのひとまずの終着点として、昨年 12 月 21 日（木）に中学校と市役所をオンラインで結んで発表会を行いました。中には、牛窓の魅力を発信するために「牛窓のうた」（芸術家と共同制作した曲）を使った動画づくり（英語版あり）に挑戦したグループもありました。視聴していた教育長様、市議様、市職員の皆様から、温かいお言葉をいただき、ありがとうございました。

自ら行動を起こす生徒、卒業後も学校を越えて学び続ける生徒に育つことを願っています。

ネット依存に関する懇談会

昨年 12 月 18 日（月）、岡山県精神科医療センター 公認心理師 古謝佳子 先生に「ネットとの上手な付き合い方・ネット依存について」と題して、ご講演いただきました。

冒頭、依存は特別なことではなく、誰にでも起こりうることでありと前置きされました。スマートフォンが普及した現代では、断ネット（インターネットを断つこと）より、節ネット（節度をもってインターネットを使用すること）のほうが現実的です。「ネットやゲームの時間をどうやって減らすか」より、「ネットやゲーム以外の時間をどうやって増やすか」という発想の転換を図ることを提案されました。最後に、IT 企業大手アップルの創業者スティーブ・ジョブズは、iPad が人を夢中（中毒）にさせる仕組みを知っていたので、幼い我が子には安易に iPad を与えなかったというエピソードで締めくくられました。

全国学校給食週間

1 月 24 日～30 日は全国学校給食週間です。食育は生まれる前から始まっており、次代を担う子どもの食習慣の改善は、次世代の親への教育でもあります。本校では私立 1 期入試に配慮して、1 月 16 日（月）～19 日（金）に繰り上げて実施しました。瀬戸内市では「食のしあわせプロジェクト」を推進中で、本校でも学習班ごとに地場産物を使った給食の献立を考え、栄養教諭が審査しました。

給食指導や給食試食会の内容を、次のとおりまとめました。栄養教諭や公認心理師の助言を生かして心身の状態を整え、入学試験や部活動で納得のいくパフォーマンスを発揮して欲しいと思います。

(1) 成長期の中学生に不足しがちな栄養素（出典：埼玉大）

- ①鉄 分 （働き「赤血球をつくる」、補給「レバー、大豆等」）
- ②カルシウム（働き「骨をつくる」、補給「乳製品、ししゃも等」）
- ③ビタミン A（働き「皮膚や粘膜を保つ」、補給「かぼちゃ、にんじん等」）

(2) 中学生がとり過ぎな栄養素

- ◎塩 分 （働き「神経の働きを保つ」、過剰「高血圧、胃がん等」）

(3) 受験生に向けたアドバイス

①朝食をとる

朝食は体だけでなく、脳を目覚めさせます。朝食を抜くと、大人になって太ります。

②青魚を食べる

青魚は血液をサラサラにし、脳の働きを高めます。

③糖分は脳のエネルギー源

チョコやアメは吸収が早いです。

④カフェインを控える

夜はしっかり寝て、学習は朝がお勧めです。入学試験は朝から始まります。